

乾隆幼稚園だより特別号

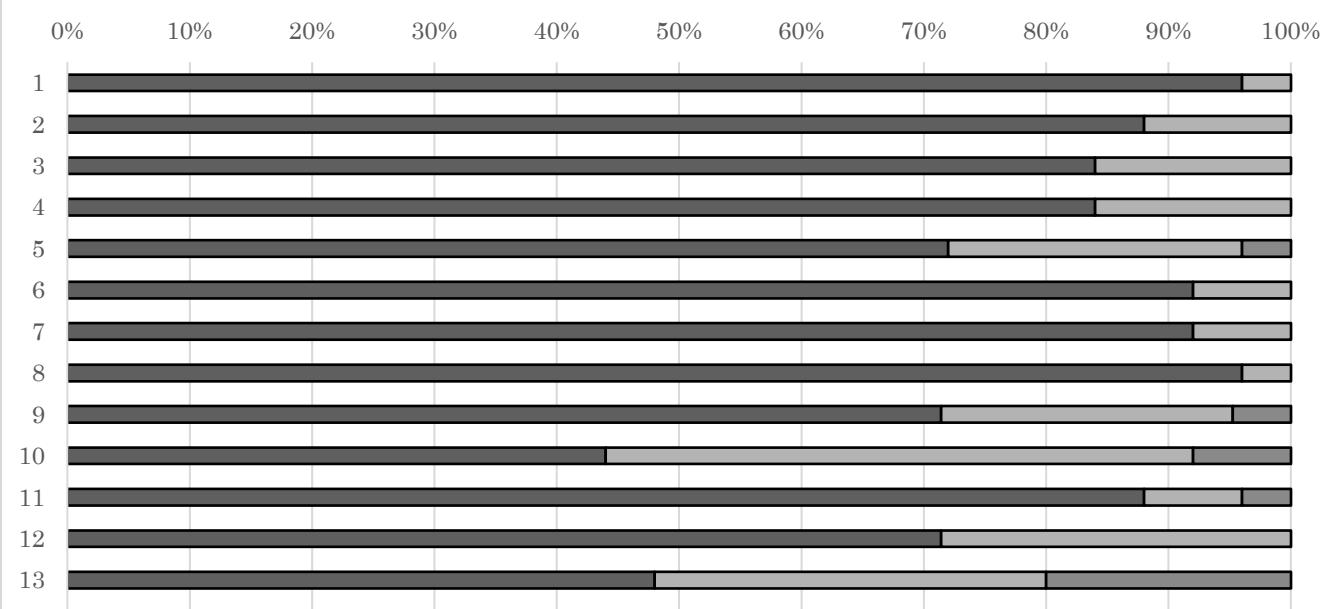
京都市立乾隆幼稚園

園長 豊田 寿美夫

保護者・地域のみなさま、本校の学校教育にいつもご理解とご協力ありがとうございます。
(9月)に実施した保護者アンケートの集計ができました。結果をお知らせいたします。

1	幼稚園は教育目標「心身ともに健やかで生き生きとした子どもの育てる」に向けての保育を行っている。
2	幼稚園の環境は、安全で子どもが豊かな経験ができるように整えられている。
3	保幼小連携・地域との連携等の取組は子どもの育ちにつながっている。
4	幼稚園には、さくらんぼ組や預かり保育等の子育て支援の取組のあることを知っている。
5	幼稚園は、お便り（子どもの姿）やホームページで活動の様子がわかるように発信している。
6	教職員は、子ども一人一人に温かいかかわりをしている。
7	教職員は、生き生きと働いている。
8	お子さんは、楽しく幼稚園に通っている。
9	お子さんには、今、夢中になっているものがある。
10	お子さんは、自分のことは自分でしようとする。
11	お子さんは、家族、友達、先生など周りの人に親しみをもってかかわっている。
12	お子さんは、楽しんで預かり保育に参加している。（利用者のみ）
13	「ノーテレビ、ノーゲームデー」の取組だけでなく、普段から親子で絵本を読むことを続けている。
14	幼稚園での出来事など、お子さんの話に共感したり対話したりする機会は多くもてている。

保護者アンケート



■大変そう思う ■そう思う ■あまりそう思わない ■そう思わない

今年度5月8日にコロナ感染症が5類相当に移行されました。コロナ感染症自体は完全に収束したわけではありませんが、マスク着用も強制ではなく、参観も状況に合わせてできるようになりました。天気の関係もあり9月も夏のような気候であったので、本園のプールを使った水遊びが結構長いスパンでできたことは子どもたちの運動欲求に応えられ効果があったと思います。マスク着用は体調がよい事を前提に外して子どもたちに表情を見せられることも幼児期の子どもにとって良い効果が出ると考えています。毎年のことですが、年々減少傾向の入園募集には力を入れなければならぬのは忘れてはいません。

今回の項目の考察です。

- ・項目1 毎年、子どもの実態を見て、その子どもたちが主体性を大切にして遊び込めるよう環境を整えて保育を実践しています。また少人数が強みとなるようにより丁寧な保育や異年齢での活動を取り入れています。保護者の皆様にはご理解の上、本園を選んでいただいていることに感謝するとともに、今後とも子どもたちの成長を見取り喜びたいと考えています。
 - ・項目2 今年度は総合遊具のペンキ塗りを中心に遊具のメンテナンスを行いました。今年の夏は猛暑で9月ぐらいから虫の発生が見られましたが、蜂の巣などには意識し剪定も定期的に行っています。日々の環境整備は今後も大切にしたいと思います。四季折々の果実のできる樹木があることや露地栽培の野菜を園庭で育てていることは、毎年認めていただいているところです。
 - ・項目3 今年度、架け橋プログラムの関係で乾隆小学校の1年生と年長組の繋がりは深まっています。互いに保育や授業を見る機会もあります。造形遊びの授業として幼稚園の砂場を使ってもらいました。今後、合同での研究授業もする予定になっています。翔鸞幼稚園との交流も再開し、コロナの関係で途絶えていた取組も再開しました。見守り隊の方に毎日お世話になっていることを含め、地域の中の幼稚園であるということはご理解いただけています。
 - ・項目4 昨年度より早朝預かり8時からを始めています。土曜日はお休みですが、毎日8時から18時まで利用していただけます。また今年度7月からは金曜日の午前、満3歳児の預かり保育「いちご組」を始めました。入園を考えられている方への周知がポイントだと思います。
 - ・項目5 ホームページの評価は改善してきました。インスタグラムの方が利用されているとの声もあるので導入を検討しています。
 - ・項目6、7は教職員に関する項目です。子どもも教職員もSDGs「誰一人取り残さない」を目指したいと思っています。
 - ・項目8から12は、子どもたちに関する項目です。項目8がいい評価結果なのは幼稚園として、そこを目指しているのでうれしく思います。項目9から11については、個々の子どもたちの月齢や特性、保護者の見取り方等々で評価が変わってくると思います。子どものあるがままの姿を見て、その子に合った子育てをすることが重要なのですが、他の人と比べることなく良い所を認める子育ては「言うは易く行うは難し」です。
 - ・項目13についてはよく絵本を活用する家庭とそうでない家庭が分かれているようです。保護者の方の興味の対象も大きいかもしれません、小学校期の読書につなげるためにも幼稚園期には親子で（親でなくても寄り添う大人でよい）絵本を読む習慣をつけてほしいと思います。
 - ・項目14です。幼稚園の子たちは言いたいことを沢山もっています。しっかり話を聞いてやってほしいと思います。いい事も悪い事も聞いていれば、今後大きくなるにつれ実際の会話が減ってもつながりは切れないと思います。忙しい毎日ですが、この時間を大切にお願いします。
- ※自由記述に書いていただいたご意見（園で感染症が園で流行ってきたときなどのお知らせ）（親子行事の時の内容）等については、園がさらに良くなるように検討していきたいと思います。